

ヘアドライヤーからの出火

事故の概要

使用中のヘアドライヤーから異音がし、火花が出て衣服が焦げ、手にやけどを負った。

事故の原因

使用者は保管時に電源コードを本体に巻き付けた状態で収納しており、プロテクター部分(本体とコードの付け根部分)を屈曲させてしまったため、半断線状態となり、異常発熱してショートし、出火したものと考えられる。

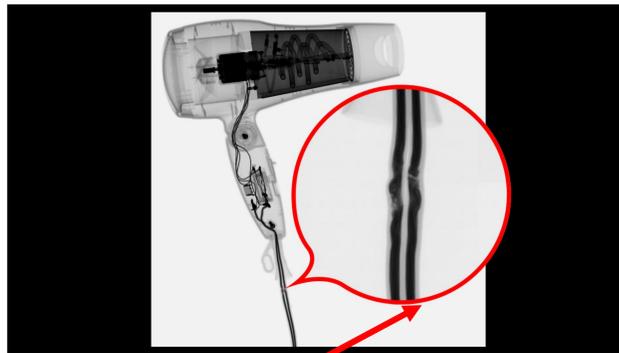
ヘアドライヤー

エックス線写真

再現実験



電源コードのプロテクター



芯線が断線している



事故防止のために

- ◆ 電源コードは丁寧に扱う
- ◆ ヘアドライヤーの吸込口や吹出口はこまめに掃除する
- ◆ 吹出口や吸込口に髪を近づけ過ぎない



異常があった場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて下さい。また、再使用の際には必ずメーカー、販売店等に相談し、点検を受けて下さい。

